

話題提供

田中 弘美 氏

(大阪公立大学 生活科学研究科 准教授)

6月19日 (水)

午後 3 時 30 分 ~ 5 時 30 分

大阪公立大学 人権問題研究センター共同研究室

定員 対面 10 名 オンライン 100 名

事前申込・先着順

参加希望者は人権問題研究センターのホームページお問い合わせ

フォームより前日正午までにご連絡ください。

折り返し参加に必要な情報をお知らせします。

[\(https://www.omu.ac.jp/orp/rchr/contact/\)](https://www.omu.ac.jp/orp/rchr/contact/)

定員に達し次第締め切りとさせていただきます。

お問い合わせはセンターまで <https://www.omu.ac.jp/orp/rchr/>「男性稼ぎ主不要モデル」の
理論・実践的可能性
→フェミニスト社会政策研究の足跡から

「男性稼ぎ主モデル」の社会システムが日本におけるジェンダー平等の実現を阻んでいる。最近はこれに代わるものとして「共働き・共育て」のビジョンが掲げられるようになったが、その前提にあるのは「異性愛カップル有子世帯」であり、必ずしも家族形態やパートナーシップのあり方を拡げていこうとするものではない。今回のサロン de 人権では、国内外におけるジェンダー視点の社会政策研究の足跡をたどりながら、男性稼ぎ主の存在を前提としない社会モデルの可能性について検討してみたい。

無料